



県ネットワーク完成



経営学から見た 稲盛和夫の経営

徒手空拳で京セラを創業し、第二電電（現 KDDI）を成功に導くとともに、破綻した日本航空を再生した稲盛和夫――。

その経営哲学と経営手法の要点は多数の著書から知ることができるが、経営者・稲盛和夫の全体像はまだ十分に解明されていない。

激変する世界経済と経営環境の中で、生涯を通じて一貫して「利他の心」をベースとする経営と高収益企業の実現という、

一見相矛盾する要素を矛盾なく実行し続けた「稲盛和夫の経営」の特質に「経営学」の視点から迫り、

時代を超えて変わらない経営の原理を探究する。

8/18

午前9時半より
申込受付開始

2026年

11月28日 土



13:00～17:45 予定
(受付 12:00～)



京セラ本社 20F 大ホール
京都市伏見区竹田鳥羽殿町6

<https://www.kyocera.co.jp/inamori/library/access.html>

プログラム

コーディネーター：島本実（一橋大学大学院教授）

- 13:00-13:10 開会挨拶 宮本又郎（「稲盛和夫研究会」会長、大阪大学名誉教授）
- 13:10-13:25 映像視聴「稲盛社長、経営を語る」（1979年5月8日『DIAMOND ハーバード・ビジネス』インタビュー）
- 13:25-14:05 講演①「経営学から見た稲盛和夫の経営」伊丹敬之（一橋大学名誉教授）
- 14:05-14:45 講演②「稲盛氏の経営実践に見る『利他・利己の相剋・進化』」高巖（麗澤大学名誉教授）
（休憩 15分）
- 15:00-15:40 講演③「稲盛和夫～二宮尊徳に始まる近代『利他式経営』の系譜」井上裕（ジャーナリスト）
- 15:40-16:20 講演④「稲盛和夫の経営実践：太陽光発電とJAL再生の事例」島本実（一橋大学大学院教授）
（休憩 15分）
- 16:35-17:35 パネルディスカッション（登壇者4名）
- 17:35-17:45 閉会挨拶 沢井実（「稲盛和夫研究会」副会長、大阪大学名誉教授）

参加費

無料

お申込み

会場参加：先着 200 名／オンライン：500 名（お申込みは下記 URL・QR コードから）
稲盛和夫研究会 <https://forms.cloud.microsoft/r/VccNV5ZIFF>

申込 QR コード



映像・登壇者紹介

秘蔵インタビュー「稲盛社長、経営を語る」特別公開



1979年5月8日、雑誌『DIAMOND ハーバード・ビジネス』（現『Diamond ハーバード・ビジネス・レビュー』）の取材に応じ、稲盛は企業の永続性の問題やアメーバ経営の特長、さらには「相矛盾する要素を矛盾なく実行するのが経営者である」といった経営論を語っている。その一部は同年8月号の巻頭に「'80年代を乗り切る技術・経営戦略」として寄稿されたが、インタビューの大半は未収録である。今回、新たに発見された取材の音声に当時の写真を挿入した動画を制作した。経営者・稲盛和夫の社長時代の思いを伝える貴重な資料として、シンポジウム冒頭に紹介する。

伊丹敬之（一橋大学名誉教授）



1945年愛知県生まれ。1969年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、72年カーネギーメロン大学経営大学院博士課程修了（Ph.D.）、その後一橋大学商学部で教鞭をとり、85年教授。東京理科大学大学院イノベーション研究科教授、国際大学学長を歴任。『経営戦略の論理』『人本主義企業』『日本型コーポレートガバナンス』『場の論理とマネジメント』『よき経営者の姿』『イノベーションを興す』『人間の達人 本田宗一郎』『高度成長を引きずり出した男』『難題が飛び込む男 土光敏夫』『孫子に経営を読む』『直観で発想 論理で検証 哲学で跳躍』『経営学とはなにか』『経営理念が現場の心に火をつける』『経営は無理をせよ、無茶はするな』など著書多数。

高巖（麗澤大学名誉教授）



1956年大分県生まれ。85年早稲田大学大学院商学研究科博士課程を修了、95年博士（商学）。米国ペンシルベニア大学ウォートン校フィッシャー・スミス客員研究員、麗澤大学国際経済学部専任講師、助教授を経て、2001年麗澤大学大学院経済研究科教授。京都大学経営管理大学院客員教授（京セラ経営哲学寄附講座）、鹿児島大学稲盛アカデミー客員教授、明治大学経営学部特任教授を歴任。主な著書として『H・A・サイモン研究』『誠実さを貫く経営』『コンプライアンスの知識』『ビジネスエシックス〔企業倫理〕』『日本航空の破綻と再生』などがある。

井上裕（ジャーナリスト）



1957年東京都生まれ。82年早稲田大学第一文学部卒、日本経済新聞社入社。東京社会部、長野県松本支局、産業部、欧州総局（ロンドン）特派員などを経て、2005年「日経ビジネス」編集長。その後、産業部長、証券部長、電波本部長などを歴任し、13年制作担当としてBSジャパン（現・BSテレビ東京）取締役役に就任。テレビ東京メディアネット代表取締役社長、テレビ東京顧問などを歴任。新聞記者時代から稲盛和夫氏を長く取材してきた。主な著書に『稲盛和夫と二宮尊徳 稀代の経営者は「努力の天才」から何を学んだか』。

島本実（一橋大学大学院教授）



1969年愛知県生まれ。99年一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。博士（商学）。愛知学院大学経営学部講師・助教授、ハーバード大学客員研究員、一橋大学大学院商学研究科助教授を経て、2014年教授。18年から同経営管理研究科・商学部教授。専門はイノベーションの経営史・政策史。主な著書に『組織の〈重さ〉：日本的企業組織の再点検』『出光興産の自己革新』『計画の創発：サンシャイン計画と太陽光発電』などがある。